

2020年度後期 講義概要

授業科目名	医の倫理 I					
主担当教員名	早島理(名誉教授)、藤崎和彦(岐阜大学)、大北全俊(東北大学)、関根隆一(亀田総合病院)、◎[哲学] 室寺					
配当学年 等	医学科3年 後期 (全7コマ [10/2午前1コマ, 10/6・11/17・12/7の午後2コマ]) 「必修」対面授業					
学習目標	「医の倫理I」では、医学研究上・医療行為上の諸問題点の中でも、特に、インフォームドコンセントの問題を含む医師・患者関係を学習する授業、緩和医療の現場での事例を検討する授業、並びに、公衆衛生分野における倫理的諸問題を考察する授業を展開する。こうした授業の中で、受講生各自がそれぞれに、人と人との関係性のあり方を細やかに考える習慣性を身に付けることを目指す。					
授業概要	初回は、「医の倫理」(I～III) 包括的ガイダンスを行う。第2回から第7回(10月6日第3・4限目、11月17日第3・4限目、12月7日第3・4限目)の授業では、(第2・3回)医療現場におけるコミュニケーションの取り方、特に「悪い知らせ」を伝える際のポイントを、模擬患者とのトレーニング・セッションを通じて学ぶ。(第4・5回)公衆衛生の観点から見えて来る倫理的諸問題を学ぶ。そして、(第6・7回)緩和医療分野におけるコミュニケーションの取り方を、ナラティブ(患者の語り)を用いた事例研究を通じて学ぶ。					
授業内容	「医の倫理」の授業では、医学研究領域及び医療領域における(特に現代・近未来の日本が抱える)、社会的・倫理的な諸問題について学び、受講する医学生一人一人が自ら、医師として行う医学研究・医療行為が、社会的・倫理的にどのような問題を伴うことになるのか、まずは気づく能力、そして、考えを深めて行くことが出来る能力を育てる授業内容とする。					
年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	課題有・無	授業形式(原則、対面。)
令和2年10月2日(金)	2時限	早島 理 室寺 義仁	「医の倫理」(I～III) 包括的ガイダンス		有	対面
令和2年10月6日(火)	3時限	藤崎 和彦 室寺 義仁	インフォームドコンセント	医療におけるインフォームドコンセント — 医療コミュニケーション	無	対面
	4時限	藤崎 和彦 室寺 義仁	インフォームドコンセント		有	対面
令和2年11月17日(火)	3時限	大北 全俊 室寺 義仁	公衆衛生倫理	公衆衛生倫理 — 公衆衛生倫理の概論	無	対面
	4時限	大北 全俊 室寺 義仁	公衆衛生倫理		有	対面
令和2年12月7日(月)	3時限	関根 龍一 室寺 義仁	緩和医療と臨床倫理	緩和医療と臨床倫理 — 事例検討方式で学ぶ	無	オンデマンド
	4時限	関根 龍一 室寺 義仁	緩和医療と臨床倫理		有	オンデマンド
授業形式・視聴覚機器の利用	講義形式					
評価方法	試験は行わない。授業担当の各教員から提示される課題レポート、あるいは、小テストやコメントシートなどの提出をもって評価します。 レポートの提出は、すべてWebClassの所定の画面から行ってください。(詳しくは、各授業終了後の翌日、WebClassの「医の倫理 I」授業コースの画面で確認して下さい。) 対面での授業実数の3分の2を超える出席回数が認められることを前提とします(事情により出席できなかった場合は、WebClassを介しての課題提出をもって出席に数えます)。その上で、各教員の評価点数を合算して100点満点評価します。					
教科書・参考文献	指定テキストはありません。 それぞれの授業の中で参考図書などについて紹介する予定です。					
学生へのメッセージ	「人間がいて医学があり、患者がいて医者がいる」という視点を忘れずに講義に参加して欲しい。					